慣用句(中級)プリント16

月　日　名前 _____

問1　「お茶を濁す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. お茶を濁して、おいしい飲み物を作った。
2. 会議で意見を求められ、お茶を濁して賛成した。
3. 急いでいたので、お茶を濁して喉を潤した。
4. 本当のことを言いたくないので、お茶を濁した。

問2　宿題を始めるのに（　）が重い。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 首
2. 肩
3. 腰
4. 膝

問3　「顔が立つ」の意味はどれですか？

1. 非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある
2. 世間に対して面目が保たれる
3. 考えが凝り固まっていて融通がきかない
4. 人前に出て活動に参加する

問4　「鶴の一声」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 社長の鶴の一声で、新しい企画がすぐに決まった。
2. 動物園で鶴の一声を聞いて感動した。
3. 鶴の一声で、みんなで協力して掃除をした。
4. 彼は鶴の一声が大きすぎて、周りが驚いた。

問5　これまでの努力が（　）の泡となった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 湯
2. 川
3. 水
4. 海

問6　先生の教えを（　）に刻む。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 体
2. 頭
3. 耳
4. 心

問7　わざと順番をぬかされて、腹の（　）が治まらない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 魚
2. 石
3. 鳥
4. 虫

問8　「顔色をうかがう」の意味はどれですか？

1. 相手の顔をじっと見て、健康状態を診断する
2. 相手の顔を隠して、驚かせようとする
3. 相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める
4. 相手の表情から、嘘をついているかを見抜く

問9　「上の空」の意味はどれですか？

1. 心の中に悩みごとがあって、気分が晴れない様子
2. 他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態
3. 空を見上げてぼんやりと物思いにふけっている様子
4. 高い所から下を見下ろして不安を感じている状態

問10　「頭が切れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は非常に頭が切れるので、複雑な問題もすぐに解決した。
2. 彼は頭が切れるので、新しいルールを全く受け入れない。
3. 包丁で指を切ってしまい、頭が切れるほど痛い。
4. 勉強のしすぎで頭が切れるほど疲れてしまった。

問11　「背水の陣」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 川の近くで背水の陣を敷いて、釣りを楽しんだ。
2. 背水の陣で、水が流れるように計画を進める。
3. 敵に囲まれて、背水の陣で川に飛び込んだ。
4. これが最後のチャンスだと、背水の陣で挑む。

問12　「口火を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 口火を切ってストーブをつけた。
2. マッチでろうそくの口火を切った。
3. 彼の一言が、激しい論争の口火を切った。
4. 料理を作るために口火を切った。

問13　「水を向ける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 怒っている友人に、水を向けて冷やそうとした。
2. 彼が話しやすいように、それとなく水を向けた。
3. のどが渇いたので、コップの水を向けて飲んだ。
4. 花が枯れないように、植木鉢に水を向けた。

問14　「腕によりをかける」の意味はどれですか？

1. 実力を発揮しようと意気込んで準備する
2. 持っている能力を最大限に使う
3. 自分の技術を磨くために修行する
4. 他人の力を借りて成功させる

問15　「口裏を合わせる」の意味はどれですか？

1. 二人で同時に同じ言葉を話す
2. 相手の言ったことをそのまま繰り返す
3. 前もって相談し、言う内容を一致させる
4. 相手の意見に合わせて自分の意見を変える

問16　「一か八か」の意味はどれですか？

1. 結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること
2. 二つの選択肢の間で迷い、なかなか決断ができないこと
3. 過去の失敗を教訓にして、同じ過ちを繰り返さないこと
4. 物事を最初から最後まで慎重に計画して進めること

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント16　答え合わせ・解説

問1　答え 4　本当のことを言いたくないので、お茶を濁した。
「お茶を濁す」の正しい使い方は「本当のことを言いたくないので、お茶を濁した。」です。 意味は「その場しのぎの言動でごまかす」です。

問2　答え 3　腰
「腰が重い」の「腰」が入ります。意味は「物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない」です。

問3　答え 2　世間に対して面目が保たれる
「顔が立つ」は「世間に対して面目が保たれる」という意味です。

問4　答え 1　社長の鶴の一声で、新しい企画がすぐに決まった。
「鶴の一声」は、「多くの意見や議論を一瞬で決めてしまうような、力のある人の一言」という意味です。

問5　答え 3　水
「水の泡」の「水」の部分が入ります。 意味は「努力や計画がむだになって消えてしまうこと」です。

問6　答え 4　心
「心に刻む」の「心」が入ります。意味は「忘れまいとして、深く記憶にとどめる」です。

問7　答え 4　虫
「腹の虫が治まらない」の「虫」の部分が入ります。 意味は「腹が立って、どうしても気持ちがしずまらない」です。

問8　答え 3　相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める
「顔色をうかがう」は「相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める」という意味です。

問9　答え 2　他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態
「上の空」は「他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態」という意味です。

問10　答え 1　彼は非常に頭が切れるので、複雑な問題もすぐに解決した。
「頭が切れる」の正しい使い方は「彼は非常に頭が切れるので、複雑な問題もすぐに解決した。」です。 意味は「非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある」です。

問11　答え 4　これが最後のチャンスだと、背水の陣で挑む。
「背水の陣」の正しい使い方は「これが最後のチャンスだと、背水の陣で挑む。」です。 意味は「失敗すれば後がないという状況で、全力を尽くす覚悟」です。

問12　答え 3　彼の一言が、激しい論争の口火を切った。
「口火を切る」の正しい使い方は「彼の一言が、激しい論争の口火を切った。」です。 意味は「物事を始めるきっかけを作る」です。

問13　答え 2　彼が話しやすいように、それとなく水を向けた。
「水を向ける」の正しい使い方は「彼が話しやすいように、それとなく水を向けた。」です。 意味は「相手が話し出すように、それとなく誘いかけること」です。

問14　答え 1　実力を発揮しようと意気込んで準備する
「腕によりをかける」は「実力を発揮しようと意気込んで準備する」という意味です。

問15　答え 3　前もって相談し、言う内容を一致させる
「口裏を合わせる」は「前もって相談し、言う内容を一致させる」という意味です。

問16　答え 1　結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること
「一か八か」は「結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること」という意味です。